

IIJ、日米回線を増強

1999年4月14日

株式会社インターネットイニシアティブ(以下IIJ、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木 幸一)は、4月14日、日米間の国際バックボーン回線を445Mbpsから465Mbpsへ増強完了いたしました。今後も、増え続ける需要に対応するべく、増速を行っていく予定です。

急激に増大するインターネット・トラフィックを支えるために、IIJでは1994年から約5年間で、2400倍を超える規模の対米回線増強を行ってきました。また、世界最速を誇るIIJの日米回線は、アジア諸国を高速回線で接続するインターネットバックボーンネットワーク「A-Bone」(*)とダイレクトに接続されています。今回の増強により、日本のみならず、アジア太平洋地域と米国間のインターネット通信を支える基幹インフラとしての役割も強化されました。

(*) IIJの関連会社、アジア・インターネット・ホールディング (AIH、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木幸一) が運営

IIJの保有する日米間国際バックボーン回線 (4月14日現在)

日本側	米国側	回線帯域
東京	San Jose(MAE-WEST)	155Mbps
	Palo Alto(DIX)	155Mbps
大阪	IIJ NY NOC	155Mbps(*)
合計		465Mbps

(*) : 今回増強した回線

IIJは、情報基幹インフラとして成長を続けるインターネットを支え、最高のインターネット環境をより多くの方々に提供していきます。

以上